

発生日時	平成 21 年 5 月 22 日 (金)			10 時 20 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
				第三者車両の窓ガラス破損		
事故概要	ハンドガイド式除草機により除草中、飛び石し、信号待ちをしていた第三者車両の窓に接触、破損させたもの					

事故発生状況



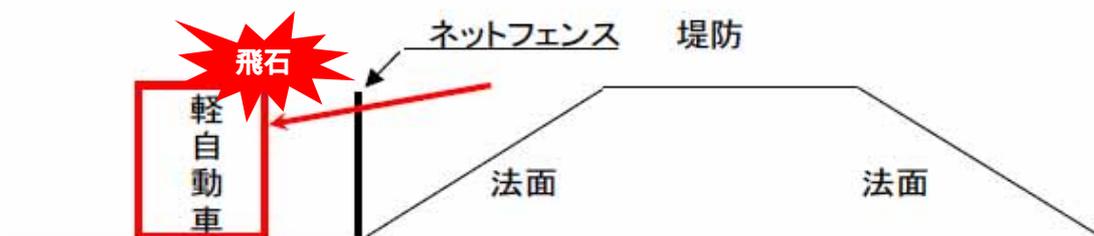
- ・堤防天端をハンドガイド式除草機にて除草を行っていた。
- ・作業中の飛び石により、近接道路を走行中の第三者車両の窓ガラスに接触し、破損させたもの。
- ・**近接する道路に対する飛び石対策は実施していなかった。**

【速報段階での事故発生原因(推察)】

- ・第三者車両等に対する安全対策不十分。

発生日時	平成 21 年 6 月 2 日 (火) 17 時 00 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	第三者車両窓ガラス破損	
事故概要	肩掛け式除草機械にて除草中に飛び石が発生し、第三者車両に接触、損傷させたもの。				

事故状況図



被害車両

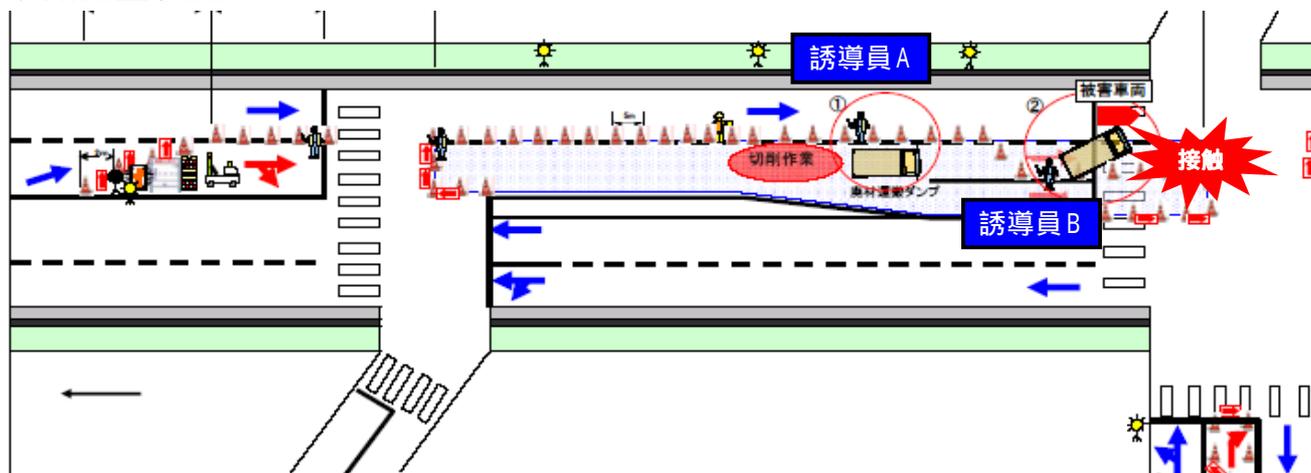


【速報段階での事故発生原因(推察)】

・近隣に第三者車両が駐車してあったにもかかわらず**飛散防止対策を行わなかった**こと。

発生日時	平成 21 年 6 月 25 日 (木) 22 時 40 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	女	24、25	第三者	頸椎捻挫、打撲 2名	
事故概要	As廃材を積んだダンプが規制帯外へ搬出する際、一般車と接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



第三者車両
損傷写真



ダンプトラック



切削廃材の積み込みを終え、誘導員Aが、工事用車両出入り口付近にいる誘導員Bに搬出する旨を連絡。

廃材を積んだダンプが出入り口に向かって走行し、誘導員Bは出入り口付近で運転手に一時停止を求めたが、**運転手は誘導に気付かず、規制外に出ってしまった。**

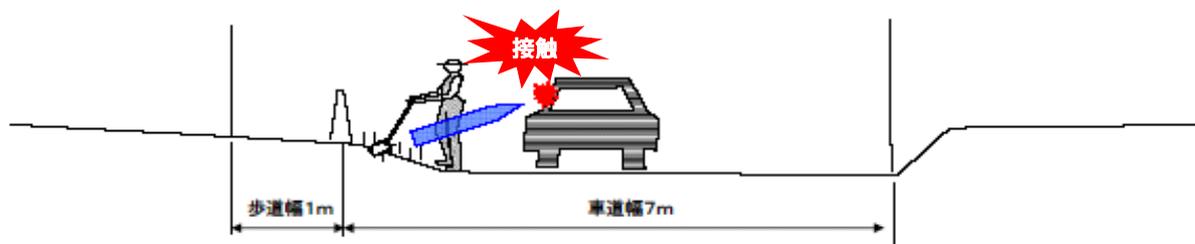
結果、出入り口付近で一般車両と接触し、損傷させたもの。

【速報段階での事故発生原因(推察)】

・現場内の交通誘導體制が不十分であるもの。

発生日時	平成 21 年 8 月 11 日 (火) 15 時 27 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般車窓ガラス損傷	
事故概要	除草作業中、飛石が発生し、走行中のライトバン(一般車)左側後部窓ガラスを損傷させたもの。				

事故発生状況



損傷状況写真



・当初、除草作業1名、集草作業2名、飛石防護2名で作業を実施していた。

・途中休憩を取り、作業再開する際に、作業員が**飛石防護を行わないで単独で作業を開始した。**

・結果、走行中の一般車に飛石し、窓ガラスを損傷させた。

【事故発生原因】

・第三者及び第三者車両に対する飛石対策がなされていなかった。

【事故防止のポイント】

・第三者被害が考えられる箇所では必ず**飛散防止対策を行うこと** など

発生日時	平成 21 年 8 月 25 日 (火) 21 時 14 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	50	第三者	左手小指第一関節上骨折	
事故概要	歩車道境界ブロック設置作業を行うため、規制帯の設置準備作業を行おうと作業員が車のドアをあけたところ、後続から来たバイクと接触したものの。				

事故発生状況

規制車は電光板を点灯させて停車していた。

作業員は後方の確認をしたが、オートバイの接近に気が付かず、ドアを開けた瞬間、後方から直進してきたバイクと接触した。



損傷状況写真



【事故発生原因】

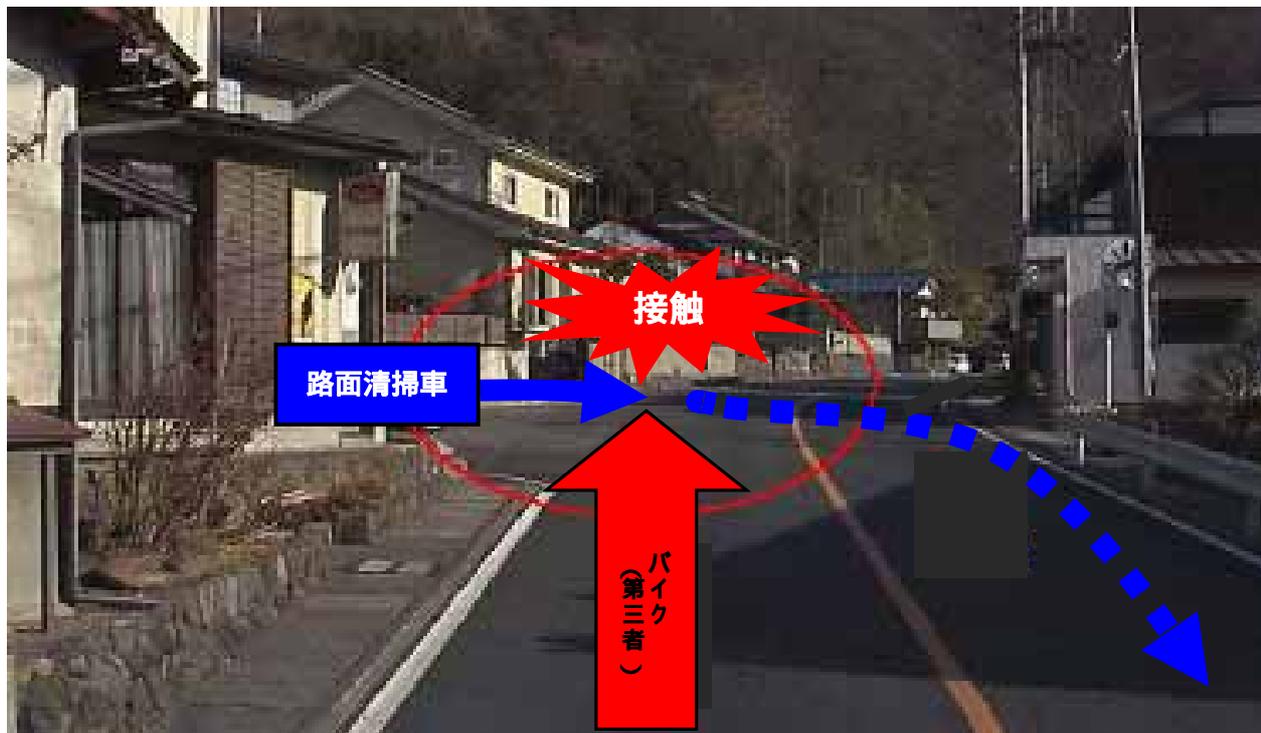
・後方確認の徹底不足によるもの

【事故防止のポイント】

・作業手順の周知徹底
・周囲の安全確認の徹底

発生日時	平成 21 年 9 月 7 日 (月) 10 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	19	第三者	左手親指の付根骨折 左肘下等負傷	
事故概要	路面清掃車が国道を右折しようとした際、右からきたバイクと接触したもの。				

事故発生状況



・国道の路面清掃作業中、作業員がバックモニターにて後方確認を行ったところ、ブラシが土砂を吸引していないのに気が付き、作業をやり直すため、国道をUターンしようとした。

・Uターンを行い、国道に戻ろうとした際、右方から来たバイクと接触した。

【事故発生原因】

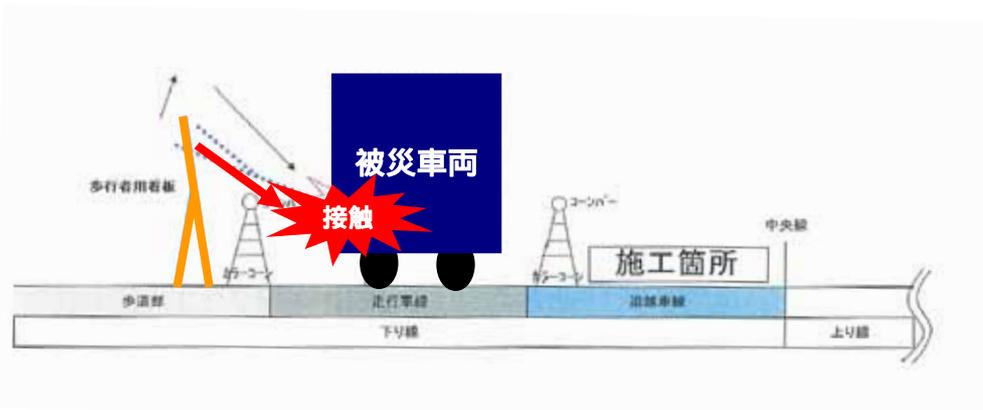
・路面清掃車運転手の周囲確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・**車両運転安全教育の徹底。** など

発生日時	平成 21 年 9 月 19 日 (土) 10 時 10 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	第三者車両左側に50cm程度の傷	
事故概要	歩行者用看板が風圧により車道側に倒れ、第三者車両に接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



・横断歩道の区画線消去、区画線設置作業を行っていた。

・その際、右図の様に「歩行者通路」看板を設置した。

・その際、大型車通過時の風圧により、看板が車道側に倒れ、後部を走行していた一般車に接触し、後部ドアに傷を付けてしまった。



損傷状況写真

【事故発生原因】

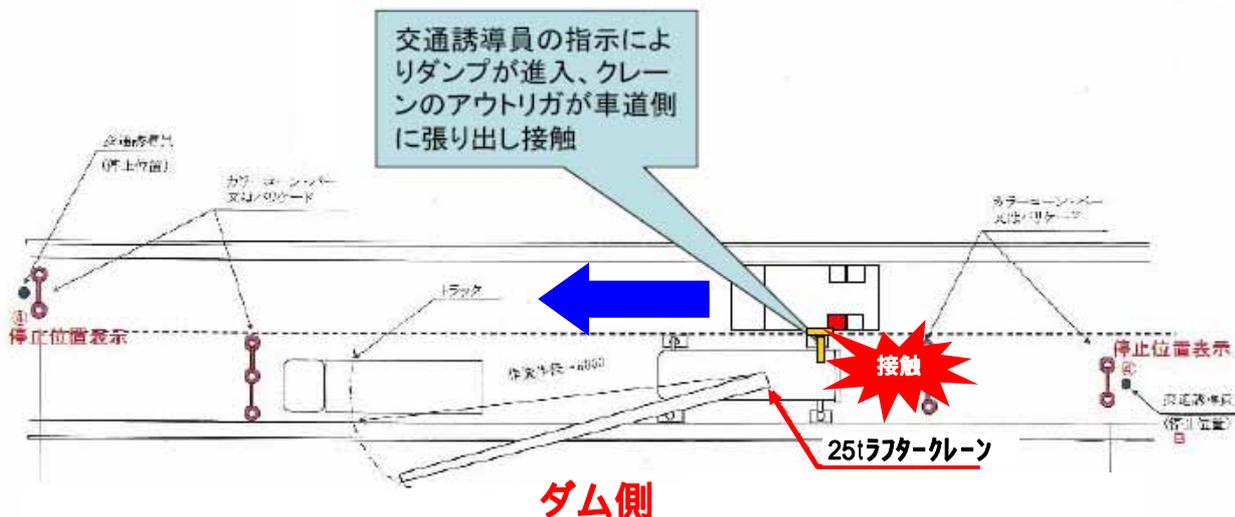
・工事看板設置時において、必要な転倒防止策を行っていなかったこと。

【事故防止のポイント】

・工事看板の転倒防止対策の実施。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 2 日 (月) 10 時 55 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 機械設備工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般ダンプ左後輪バースト、左サイドスカート損傷	
事故概要	片側交通規制にて一般車を誘導していたところ、規制帯内のクレーンのアウトリガーが中央線よりはみ出してしまい、走行中の一般車(ダンプ)に接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



サイドスカート損傷



タイヤ破損損傷

- ・ダム天端より修繕用部品を吊り下ろすため、道路を規制してラフタークレーンを配置した。
- ・アウトリガーを張り出したところ、**規制帯からはみ出し、走行中のダンプトラックに接触して損傷させた。**

【事故発生原因】

- ・オペレータへ新規入場者教育、作業手順を説明してから作業を開始する予定であったが、**意思疎通を十分に行わないまま、安全管理を怠り、運転席からアウトリガーを操作したこと。**(オペレータへの作業手順、指示が適切なタイミングで行われていない。)

【事故防止のポイント】

- ・**作業手順とともに作業に応じた安全上の注意及び指示事項の周知徹底する。** など

発生日時	平成 21 年 11 月 14 日 (土) 10 時 10 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	民家の窓損傷	
事故概要	強風であられた工事警告用看板が、近隣の一般状況に飛び、窓ガラスに接触・損傷させたもの。				

事故発生状況



・工事警告板の設置は砂入り土嚢1袋で固定していた。

・当日は風が強く、土嚢が外れ、**看板が強風であられ、近隣の民家窓ガラスに直撃。**



窓ガラス破損状況

【事故発生原因】

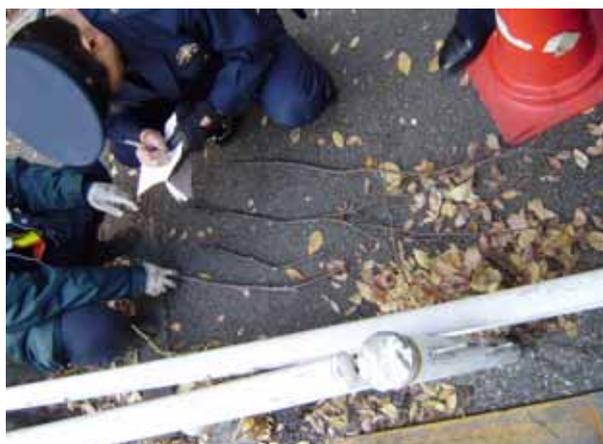
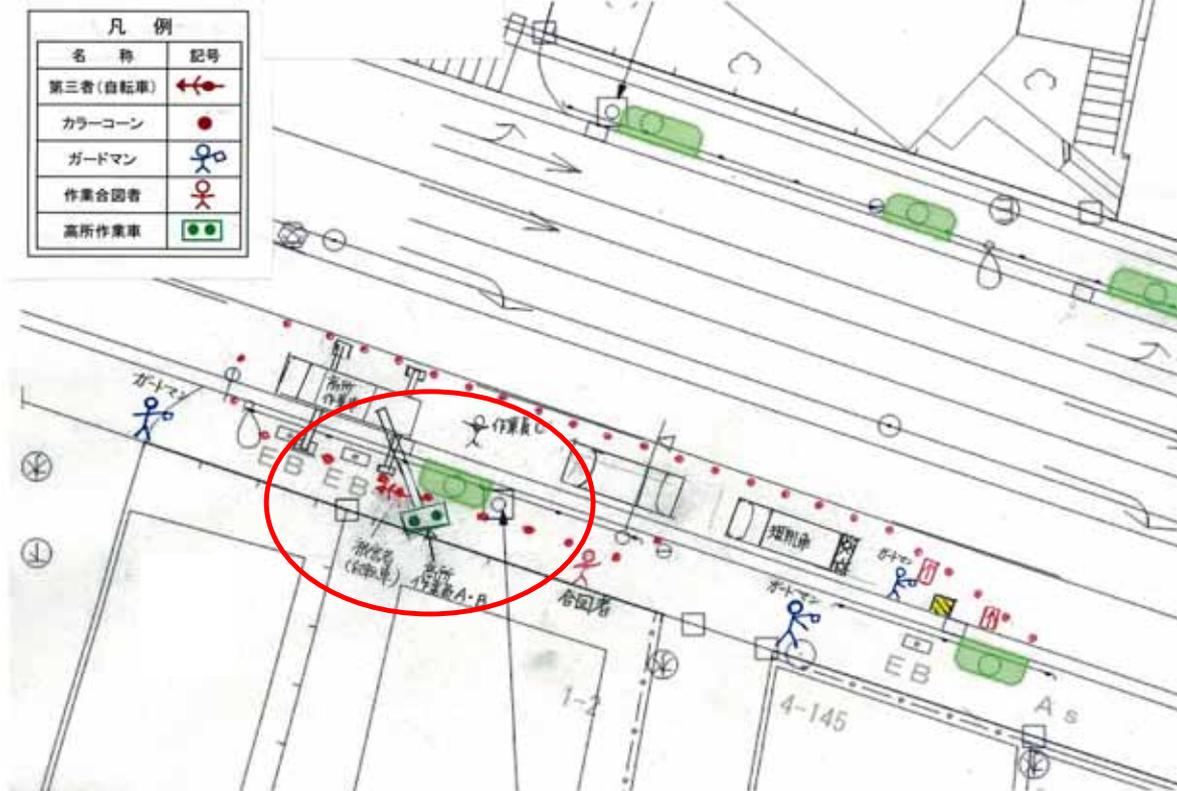
- ・強風に対する安全管理が不十分だった。
- ・土嚢と看板が確実に緊結されていなかったため。

【事故防止のポイント】

- ・木杭で固定する。
- ・日々の安全点検の強化 など

発生日時	平成 21 年 12 月 7 日 (月) 13 時 50 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 造園工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	43	第三者	脳しんとう	
事故概要	剪定中の枝が落下し、自転車にて走行中の一般者に接触したもの。				

事故発生状況



・ケヤキの剪定作業中、小枝(長さ1m・径1cmの枝2~3本)が落下し、自転車にて通行中の第三者に接触した。
 (本来、枝を切断している際は歩行者を通さないことになっていたが、作業員及び合図者の連携が不十分だったため、第三者を通行させてしまった)

【事故発生原因】

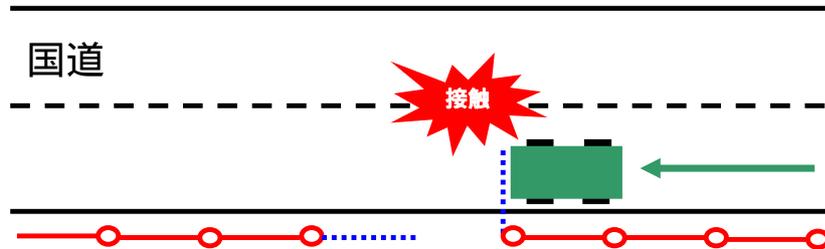
・通行人に対する工事関係者間の連携不足。

【事故防止のポイント】

・作業時における、第三者に対する安全管理について周知・徹底。 など

発生日時	平成 22 年 1 月 21 日 (木) 15 時 50 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	第三者車両バンパー損傷	
事故概要	常設規制帯の仮設ゲートが突風に煽られ、国道上に停車中の一般車に接触し、損傷させたもの。				

事故発生状況



・当日は、午後から風が強まっていた。

・午後に工事用車両の出入りがあったため、簡易な施錠状態(車輪のロックをかけたのみ)だった。

・突風によりゲートが車道側に徐々に動き始め、作業員がその状況に気が付いたが間に合わず、国道上に停車していた一般車に接触したものの。

【事故発生原因】

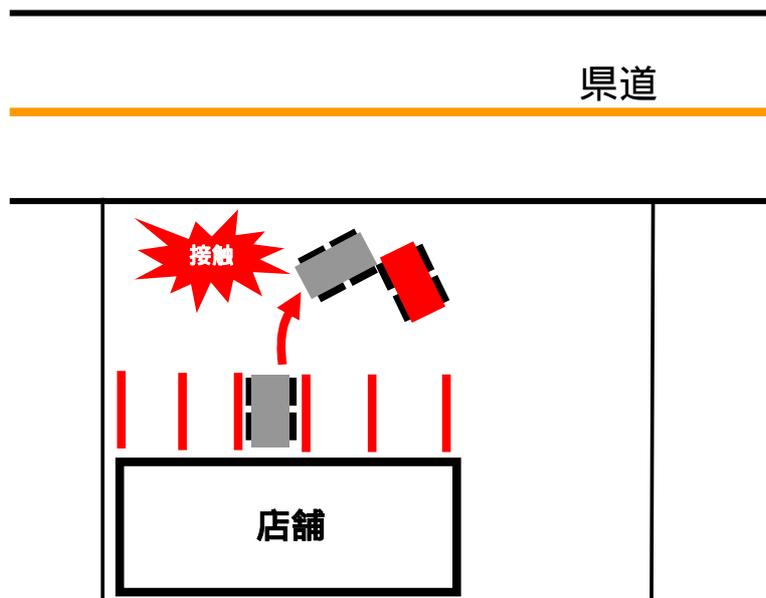
・強風時に、ゲートを簡易な施錠状態のままにしていたこと。

【事故防止のポイント】

・急な突風にも耐え得るゲートの逸脱防止措置を行うこと など

発生日時	平成 22 年 2 月 2 日 (火)	7 時 35 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	第三者車両前部バンパー左側に凹み
事故概要	公用車を駐車場から県道に出すためにバックで転回したところ、後方に待機していた第三者車両と接触し、損傷させたもの。			

事故発生状況



【事故発生原因】

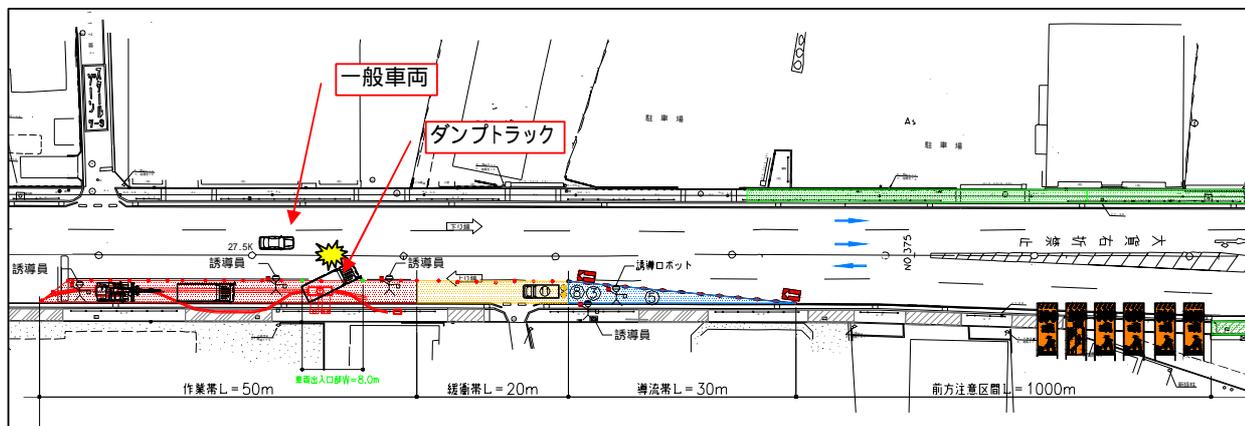
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 2 月 21 日 (日)	2 時 10 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	第三者車両フロントバンパー等損傷
事故概要	ダンプトラックが規制帯内から公道に出る際、カラーコーンを巻き込み、車体脇に挟まってしまった。車体に挟まったカラーコーンが公道上で落ち、後方を走行してきた第三者車両に接触し、フロントバンパー及びナンバープレートを損傷させたもの。			

事故発生状況



ダンプトラック

巻き込んだ
カラーコーン

損傷状況

- 1) 上下線から車両が来ていない事を誘導員が確認のうえ、ダンプトラックを搬出させた。
- 2) ダンプトラックが出た時、バンパーにカラーコーンが引きずられ、下り車線側にカラーコーンが出た。
- 3) 誘導員 及び は車両を出す合図完了後、後方確認を行う為、ダンプトラックに背を向けていた為、カラーコーンが、車道側に出たことに気づかなかった。
- 4) 規制先頭にいた誘導員 がカラーコーンが下り車線に転がっているのを発見したが、後方から来た一般車両がカラーコーンと接触してしまった。

【事故発生原因】

- ・ダンプトラック運転手の周囲確認不足。
- ・交通誘導員の周囲安全確認不足。

【事故防止のポイント】

- ・車両出入口は十分な広さを確保する。
- ・誘導員の配置位置の見直し。

など